

オンライン配信によるボランティア活動支援

千葉市生涯学習センター



ボランティアによる合唱を配信支援している様子



公民館で配信された落語を聴く参加者の様子

生涯学習センターの沿革・年表

【平成13年】 千葉市中央図書館・生涯学習センター開館
生涯学習センター管理運営を、千葉市教育振興財団が受託
【平成17年】ちば生涯学習ボランティアセンター開設
【平成18年】 第1期指定管理開始（5年間）
以後、現在（第4期 令和3年度～7年度）にかけて継続
【平成30年】 千葉市公民館（47館）の千葉市教育振興財団による指定管理開始（～令和4年度 5年間）

左図・写真の説明等など（PRポイントなども可）

生涯学習指導者養成事業の一つである「ちば生涯学習ボランティアセンター」の運営について、コロナ禍においても継続できるスタイルを模索した。
同時配信の技術を用いて、対面リスクを最小化することで、ボランティアの皆さまと、ボランティアを依頼する各施設（特に高齢者施設）の安心安全を確保した。
対面の活動は、1対1が基本であったが、この技術の応用により、1対複数（施設）も可能となり、ボランティアの活動を、より幅広く、多くの方々に届ける支援が可能となった。

1. 都道府県名	千葉県	3. センター対象人口	約98万人（市人口）	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN（Wi-Fi等）
2. 市区町村名	千葉市	4. 建物設置年月日	平成13年4月1日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	35台
7. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者（千葉市教育振興財団） <input type="checkbox"/> その他（ ）				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 14442人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 121939人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 <input type="checkbox"/> その他 0人（ ）				合計 136,381人
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 35人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 6人 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア協力者 （職員のうち社会教育主事有資格者の数 10人 職員のうち社会教育士の数 0人）				合計 41人
10. 予算	<input type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他（ ）				
11. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他（年1回生涯学習センター利用者懇談会を開催）				
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他（ ）				
13. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 自由記述（ ）				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等（団体名記述）	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input checked="" type="checkbox"/> 博物館 <input checked="" type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 弁天保育所、市PTA連絡協議会、千葉県高校演劇連盟、立正大学、明治安田生命保険相互会社、消防音楽隊、消費生活センター、園芸協会、加曽利貝塚博物館ほか				

千葉市生涯学習センター

OPEN 9:00～21:00 H P <https://chiba-gakushu.jp/>
TEL 043-207-5820 SNS 公式Twitter・公式Facebook



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

生涯学習センターでは、市民同士が共に学びあい、学びの輪を広げるための「ちば生涯学習ボランティアセンター」を運営している。しかしコロナ禍を受け、ボランティアをする方々にとっても、またボランティア活動を依頼する側にとっても、対面での講座やイベントの開催は、新型コロナの感染リスクが高く、自粛をせざるを得ない状況にあった。これまでも高齢者施設からは、音楽演奏や落語などの演芸披露について、多数のボランティア活動の依頼があり実施することで好評を得ていたが、これも実施できない状況が続いていた。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

新しい生活様式にも対応し、コロナ禍にあっても、「ちば生涯学習ボランティアセンター」に登録されたボランティアの活動を止めることなく支援する手段として、Zoomを活用したオンラインでの開催を実現した。以下、主な特徴。

①感染リスクを回避したボランティア活動の実現

これまでもボランティア登録者の活動紹介ならびにスキルアップを兼ねた「ボランティアセンター登録者紹介講座」を実施していたが、これをオンライン配信で実施。

②感染リスクを回避した会場設定

メイン会場は無観客（または少数定員での実施）。サテライト会場は有観客。

③オンラインの強みを活かした、同時配信による複数会場での開催

市内高齢者施設、公民館での複数同時開催

④コロナ禍における笑顔を届けることの重要性

音楽や落語を通じて、人を和やかに笑顔にできる行為は、ボランティア活動の醍醐味であり、かつ、コロナ禍で特に大きな制約がある高齢者にとっては、とても望まれていた。



（メイン会場）演奏の配信



（サテライト会場）高齢者施設の様子

3. 取組による成果や効果

ちば生涯学習ボランティアセンターのコーディネートによるボランティア活動や、学習や娯楽の場を、コロナ禍においても継続発展することができた。

①ボランティア活動依頼件数の増加

令和元年度：262件、令和2年度：123件、令和3年度：341件

②安全安心なボランティア活動の場の提供

「ボランティアセンター登録者紹介講座」のオンライン開催数 令和3年度：10件

③高齢者施設への安全安心な開催手段の確立

高齢者施設（老人ホーム等）へのオンライン配信数 令和3年度：8件



通常のボランティアコーディネートの様子
左：ボランティア、中央：ボランティアコーディネーター、右：活動依頼者（施設）
ときには、コーディネートもオンラインで実施

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

映像・音声・配信技術の問題については、絶えず現場での検証、及び都度の改善を図ってきた。配信のためのノウハウと入念な準備は不可欠であり、今後はよりセンター職員全体での講座配信のノウハウの共有を図る予定。

また、千葉市には47館の公民館があり、同じ財団で運営している（指定管理者制度）ことから、現場レベルでの連携を図るため、センターが企画する公民館職員研修のメニューとして「オンライン配信機材接続研修」（令和3年度）を実施した。

5. 生涯学習センターとして大切にしていること、大切にしている考え

コロナ禍を受けて急速に普及が図られてきたオンライン技術であるが、あくまで手段であって目的ではない。センターとしては、その技術を最大限に活用しつつ、目的であるボランティア活動によって得られる充実感や、これまでどおり参加者が、演奏や落語・演芸を見たり聞いたりすることで、楽しみ笑顔になれる姿を大切にしていきたいと考えている。



演者と観客を分けた落語講座

6. これから生涯学習センターをどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

Zoom配信により、一度に10カ所を超える高齢者施設や公民館での同時開催も可能となった。参加者においては、自由に好きな施設、または最寄りの施設を選んで足を運び、講座やイベントを受講することができる。今後はより市内の多くの施設からの参加を促し、またパソコンやスマホで、自宅からも参加できる仕組みも検討していきたい。



公民館から高齢者施設への配信支援